

南高生の可能性は無限大！ゴールは、「大学合格のその先」に！
～1年生全員、2年数理科学コース「企業・市役所見学」をとおして、社会の最前線を体感～

南高では、志望大学・学部合格を見据えた、バランスのとれた学力向上はもとより、社会とつながる学びをとおして、一人ひとりが進路観・職業観を育むキャリアの学びを重視しています。
6月24日(水)午後、1年全員(320名)と2年数理科学コース(80名)、計400名の南高生が、県内の最先端企業や四日市市役所を実際に訪問し、以下の取組を実施しました。

1 単なる「見学」ではない、南高独自のねらい

単なる職業理解や進路情報の入手だけを目的とするものではありません。

社会の第一線で活躍されているプロフェッショナルとの対話や、現場の空気を五感で感じることをとおして、「大学で学んだ知を、将来どこで活かし、どう社会に貢献していくか」という、次代の地域を支えるリーダーとしての「目標への解像度」を早期に引き上げることを目指しています。

ご協力いただきました、企業・四日市市役所(10箇所)の皆様、南高生たちのために貴重なお時間を割いていただき、あたたかいご支援、本当にありがとうございました。

<ご協力いただいた皆様(順不同、敬称略)>

JSR 株式会社 四日市工場
日本トランスシティ株式会社
四日市市役所
株式会社百五銀行 四日市支店
一般財団法人 食品分析センターSUNATEC
キオクシア株式会社 四日市工場
東ソー株式会社
住友電装株式会社
地方独立行政法人三重県立総合医療センター
大和ハウス工業三重工場

2 概要

各所において、普段なかなか拝見することが難しいと思われる箇所への訪問や見学をもとより、「交流会・座談会」「職員とのクロス・トーク」といった機会をいただきました。

3 南高生たちの声(速報)

「最先端の半導体に関する仕組みや、それが世界をどう変えているのか分かり、面白かった。」
「普段何気なく見ている物流が、これほどまでに世界とつながって行われているのかと圧倒された。」

「地元企業の凄さを感じた。将来は大学を卒業して、またこの四日市市に戻ってきて地域に貢献する仕事をしたい。」

「経済学部を目指しているので、物流やマーケティングに関する現場の『生の話』をプロから直接聞くことができて嬉しかった。」

当日は、中日新聞社様のご取材もいただきました。

学校内だけでの学びに留まらず、南高生たちが早期から、将来に向けた一歩を踏み出し、社会とつながる本取組を実施させていただきましたこと、10箇所の皆様、関係の皆様、ありがとうございました。

多くの箇所において、南高ご卒業の先輩方が、現役の南高生(後輩)に向け、とてもあたたかい眼差しで、サポートいただき、ありがとうございました。

多方面での事前のご準備をはじめ、当日の進行におかれましても、多くのご配慮を賜りましたこと、改めて感謝を申し上げます。